

平成30年度全国学力・学習状況調査 結果報告

国語	A(知識) 全国値より下回る	算数	A(知識) 全国値より若干下回る	理科	全国値レベル
	国語B(活用) 全国値より若干下回る		算数B(活用) 全国値より若干下回る		

〈 学力調査 〉

国語・算数ともに全国値よりも若干下回っていました。

国語では、特に「言語事項」で、「漢字を文の中で正しく使う」という問題でしたが、ただ単に漢字を書くのではなく同じ漢字を使っている文を選ぶ、という問題で子供たちも答え方に戸惑ったようでした。

算数では、「数量関係」（直径の長さや円周の関係、百分率、折れ線グラフから変化の特徴の読み取り）が全国値よりも下回っていました。

理科においては全国値レベルで、「生命」に関する問題は全国値よりも上回っていました。

また全体的にみて、県や全国よりも無解答率が高かったことが気になりました。

※本調査により測定できるのは、学力の一側面であることをご承知おきください。

	平均正答率 (%)	
	本校	全国
国語A	64	70.7
国語B	52	54.7
算数A	61	63.5
算数B	49	51.5
理科	60	60.3

■学校の取組

○朝の活動時間（8：25～8：40）に基礎学力の定着を図っています

基礎学力の定着を目的に週2回ほど朝の活動時間に取り組んでいます。全校、継続して取り組んでいるので、子供たちも時間になったらすぐに問題を解き始めています。

月曜日 国語：言葉サプリ

（漢字やことわざなど語彙力を高める問題、コバトン問題集、復習プリントなど）

水曜日 算数：算数トレーニング

（計算問題や文章問題、コバトン問題集、復習プリントなど）

○算数の少人数指導できめ細かい指導を行っています

算数の授業では、学年や学級を3つや2つのグループに分けて少人数にして指導を行い、児童一人一人に対してきめの細かい指導を可能にした少人数指導を実施しています。

○読書タイムを設定しています

毎週金曜日の朝に「読書タイム」を設定しています。1～3年生までは図書ボランティアによる本の読み聞かせ、4～6年生までは図書館や家庭にある本を各教室で読書しています。語彙を増やし、読解力を高めるには読書量を増やすことが最適です。全国や県の学力調査の問題は普段学校で行っているワークテストとは形式が異なり、問題文を素早く的確に読み取っていかねば最後の問題まで到達できません。このことは無解答率の高さに相対していると思われます。今後読書タイムの充実をさらに図っていきたいと考えています。

○「家庭学習のてびき」を配付し、家庭とともに学力向上に取り組んでいます

児童の望ましい学習習慣や生活習慣の形成に向けて、「家庭学習のてびき」を作成し、家庭と連携を図った取組を行っています。家庭学習の時間や方法、児童へのかかわり方はもとより、学習準備やテレビの視聴時間、運動など、生活習慣の形成に係る内容等を記載するなど特色ある手引を作成していますが、定着のための取り組み方に差があり、考慮すべき点となっています。

〈 質問紙調査 〉

質問事項	選 択 肢				
	している	どちらかといえば、 している	あまりし ていない	全くしてい ない	
毎日、同じくらいの時刻に寝 ていますか	49.2	33.8	13.8	3.1	本校 (%)
	41.4	35.6	17.2	5.7	全国 (%)
毎日、同じくらいの時刻に起 きていますか	69.2	21.5	6.2	3.1	本校 (%)
	59.9	28.9	8.2	2.9	全国 (%)

	3時間 以上	2時間 以上	1時間 以上	30分 以上	30分より 少ない	全く しない	
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日 から金曜日）、1日当たりどれくらいの 時間、勉強をしますか（学習塾で勉強し ている時間や家庭教師に教わっている 時間も含む）	9.2	12.3	50.8	23.1	4.6	
	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5	全国 (%)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日 から金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、読書をしますか（教科書や参 考書、漫画や雑誌は除く）	9.2	3.1	12.3	43.1	12.3	20.0	本校 (%)
	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7	全国 (%)

新聞を読んでいますか	ほぼ毎日読む	週1～3回	月1～3回	読まない	
	10.8	7.7	7.7	73.8	
	7.4	12.5	19.0	60.9	全国 (%)

※家に帰ってからの勉強時間は「1時間以上」の児童が多く、本校「家庭学習のてびき」に明記されて
いる「6年生は60分以上の学習」の意識をもって家庭学習に取り組んでいることが分かります。

※家に帰ってからの読書時間は「30分以上」の児童が多い結果となっております。しかし全く読書を
しない児童も2割ほどいる現状がみられます。「新聞を読んでいますか」においても7割の児童が「ほ
とんど読まない」「読まない」と答えています。読書をしたり、新聞を読んだりして文章に多く触れ
ている児童ほど正答率は高くなっています。ただ単に「読みなさい」というのではなく、読みたくな
る環境を整えていくことも大切です。

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない	
自分には、よいところがある と思いますか	32.3	49.2	9.2	9.2	本校 (%)
	41.2	42.8	11.6	4.3	全国 (%)
先生は、あなたのよいところを認 めてくれていると思いますか	47.7	46.2	4.6	1.5	本校 (%)
	42.5	42.8	11.2	3.3	全国 (%)

※自己肯定感において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の児童は本校6年生の8割以上いることが分かります。また「あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問では9割以上の児童が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えています。自分自身のよさを認め、そして相手からも認められていると感じている児童は正答率が高い傾向にあるといわれています。「子供たちを育てていくのは家庭・学校・地域である」ということを意識して、大人たちが一人一人の子供たちの良さを引き出していきましょう。

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わな い	
学級の友達との間で話し合う活 動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていると 思いますか	27.7	47.7	20.0	4.6	本校 (%)
	34.7	43.0	17.3	4.8	全国 (%)

※「自分の考えを正しく発信する力」「自分の考えとは異なる発言をしていることを理解しようとする力」、この2つの力をつけることが「主体的・対話的で深い学び」につながると考えられます。子供たちを取り巻く情報の環境は日々多様化しています。SNSで情報の発信、受信が当たり前になっている昨今、今一度「言葉の大切さ」を考え、子供たちに「生きる力」が身に付いていくよう、支援してまいりましょう。

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わな い	
いじめは、どんな理由があっても いけないことだと思いますか	86.2	13.8	0.0	0.0	本校 (%)
	85.9	10.9	1.9	1.1	全国 (%)

※「いじめをしてはぜったいにいけない」という意識が子供たちに身に付いています。ふざけやからかいなどもいじめにつながることもふくめ、相手を思いやる気持ちをさらに育てていくことが大切です。